

○受賞報告

第 29 回日本比較文学学会賞を受賞して

九州女子大学人間科学部心理・文化学科
専任講師 大場健司

■受賞報告

2024年6月8日、第86回日本比較文学学会全国大会（於・愛知学院大学、2024年6月8-9日）において学会賞授与式が開催され、「第29回日本比較文学学会賞」を受賞致しました。単著学術書『1960s 失踪するアメリカ——安部公房とポール・オースターの比較文学的批評』（春風社、2022年12月、全432頁、ISBN：9784861108518）が評価され、今回の受賞に至りました。



（図1：学会賞授与式での受賞スピーチ）



（図2：拙著『1960s 失踪するアメリカ——安部公房とポール・オースターの比較文学的批評』）

■日本比較文学学会賞とは

「日本比較文学学会賞」とは、比較文学・比較文化に関する最優秀の研究書に贈呈される賞のことです。受賞者は満50歳以下の日本比較文学学会会員とされており、当該年の前々年1月1日より、当該年の前年12月31日までに刊行された日本語による単著の研究書が対象となっています。



（図3：第86回日本比較文学学会全国大会での懇親会にて。右：九州大学教授 波瀾剛先生、左：大場）

■拙著について

本書『1960s 失踪するアメリカ——安部公房とポール・オースターの比較文学的批評』は九州大学に提出した博士論文に新章追加などの加筆・修正を行なったものです。「失踪」をキー・ワードに、日本文学／アメリカ文学の相互交通を比較文学的に吟味した単著の研究書となっています。日本のアヴァンギャルド（Avantgarde）作家、安部公房（1924-1993年）と現代アメリカのポストモダン（Postmodern）作家、ポール・オースター（Paul

Auster, 1947-) の文学テキストを、①比較文学・比較文化（海外文学や絵画、映画、音楽、ファッションといった他メディア）、②同時代言説（1960年代の活字メディア／非活字メディア）、③現代思

想・批評理論（実存主義、ポスト構造主義）といった脱領域的・横断的な視座から論じています。

大場健司 (Oba Kenji)

九州女子大学人間科学部心理・文化学科専任講師、九州女子大学大学院人間科学研究科研究指導教員。九州大学大学院地球社会統合科学府「博士」(学術)学位取得(博甲第47号)。専攻は比較文学・比較文化、日本近現代文学。台湾：国立台湾大学外国語文学研究所交換留学、韓国：朝鮮大学校外国語学部日本語科助教授、台湾：国立国防大学語文中心専任教師などを経て現職。

主な研究業績として、単著書籍『1960s 失踪するアメリカ——安部公房とポール・オースターの比較文学的批評』(春風社、2022年12月)で第29回日本比較文学会賞を受賞。共著書籍に松本常彦・波瀾剛編『近現代文学と東アジア——教育と研究の多様性に向けて』(花書院、2016年3月)、과경 일본어 문학. 문화연구회・김효순 편저 《동아시아의 일본어 문학과 문화의 번역, 번역의 문화》(ソウル：역락、2018年2月)、杨本明・大場健司他『高考日语满分宝典』全5卷(上海：上海交通大学出版社、2022年3月)、福岡市文学館編『運動族 花田清輝』(福岡市文学館、2014年11月)など。論文に“Picasso’s Paintings as Allusions: A Comparative Study of Abe Kōbō’s *The Ruined Map* and Paul Auster’s *Ghosts*.” *Trans-Humanities* 9(3). 2016.など。